



LA MAMOUNIA  
MARRAKECH

# プレスキット

*May 2021*

# 栄えある歴史





## 1923年にその歴史はスタートしました

1923年、建築家のプロストとマルキジオが設計したラ・マムーニアは、この豊かな歴史ある場所に50室のホテルとして誕生。

# ラ・マムーニアの歴史

ラ・マムーニアの歴史は、18世紀のシディ・モハメド・ベン・アブダラ王にまつわる話まで遡ります。王は息子たちの婚姻のお祝いとしてカスバ付近に家と庭園を贈り、アブデスサラーム、マムーン、ムーサとハッサンと呼ばれる名称がそれぞれの庭園に贈呈されました。

“アルサット”と呼ばれるこのような庭園は、今では広く知られていますが、その中でもアルサット・アル・マムーンは最も有名な庭園のひとつで、ラ・マムーニアの名前の由来となりました。庭園では、頻繁に王子主催による豪華なザハ(ガーデン・パーティー)が催され、集まった人々をもてなしていました。モロッコの都市部では、今もこの慣習はポピュラーな行事のひとつです。

現在まで残された王家所有の素晴らしい庭園は8エーカーもの広さに美しい植物が生い茂り、見る者を喜ばせています。アールデコ風の伝統的なモロッコ式建築物が建つラ・マムーニアは、そのスタートからモニュメントとして残るべくして存在していました。



ラ・マムーニアには名高いセレブが多数訪れています。ウィンストン・チャーチルは、いくつもの冬をラ・マムーニアで越しました。バルコニーをゆっくりと歩き、空を横切る太陽を追いかけて、実際の色を発するように自らがイメージした絵を描いていたと言われています。現にラ・マムーニアの庭園を描いた作品が何点か現在イギリスのチャーチル博物館に飾られています。

2014年2月、ラ・マムーニアはウィンストン・チャーチルとハッサン・エル・グラウイの二人のコレクション展示をモロッコで初めて開催いたしました。チャーチルの作品が8点、エル・グラウイの作品が17点紹介されました。ほとんどがモロッコでは初めて展示されたものであり、またウィンストン・チャーチルの作品がモロッコの画家の作品と共に展示されたのも初めてでした。



「世界中でいちばん素敵な場所」と、1943年にウィンストン・チャーチルは、フランクリン・D・ルーズベルトにマラケシュのことを伝え、是非ここに来てほしいと招待しています。彼は有名なマラケシュの美しい夕日を見ながらこれを伝えたといわれています。

ラ・マムーニアに残る数々の逸話の中には、同時期にホテルに宿泊したシャルル・ド・ゴール将軍の話もあります。当時勤務していたホテル・ディレクターは、この長身の歴史的指導者が快適に眠ることができる特別なベッドを用意したそうです。



A black and white photograph showing the silhouettes of numerous palm trees against a dark, overcast sky. A small, bright light source, possibly the sun or moon, is visible near the bottom center, partially obscured by the trees. The text is centered over the image.

# ラ・マムーニアを愛した著名人

長きに渡り、マラケシュとラ・マムーニアの評判はフランスやアメリカの映画監督を惹きつけてきました。ジャン・ティシエとエリッヒ・フォン・シュトロハイムの「アレルト・シュド」が1953年に撮影され、さらにヒッチコックの「知りすぎている男 (The Man Who Knew Too Much)」も撮影されています。最近ではヴェルナー・ヘルツウォークの「クイーン・オブ・ザ・デザート」の撮影も行われました。

1955年にはチャーリー・チャップリンがホテルを訪れ、その後も映画界からはマルチェロ・マastroヤンニ、ユーセフ・シャヒーン、クロード・ルルーシュ、ジャン・ジャック・アノー、オリバー・ストーン、リュック・ベッソン、フランシス・フォード・コッポラ、マーティン・スコセッシなどの巨匠が滞在しています。

他にも映画界の大物は、カーク・ダグラス、チャールストン・ヘストン、ユル・ブリナー、オマール・シエリフ、ジョーン・コリンズ、ニコール・キッドマン、シルベスター・スタローン、リチャード・ギア、スーザン・サランドン、トム・クルーズ、シャロン・ストーン、ケイト・ウィンスレット、シャルル・アズナヴール、ジャン・ポール・ベルモンド、カトリーヌ・ドヌーヴ、アラン・ドロン、オルネラ・ムーティ、クラウディア・カルディナーレ、ソフィー・マルソー等、そうそうたる方々がゲストリストに名を連ねています。





映画界のスターと共にファッション界からもヴェルサーチ、ケンゾー・ヴァレンチーノ、ジャンポール・ゴルティエなどが訪れるようになり、イヴ・サン・ローランやピエール・バルマンは近隣に家を購入し、頻繁にホテルを利用するようになりました。



ロック・ミュージック界からは1968年、マラケシュにローリング・ストーンズが訪れ、クロズビー、スティルス、ナッシュ&ヤングは「マラケシュ・エクスプレス」をこの地で書き上げ、ヒットしました。音楽界からはさらにジャック・ブレルが「ラ・マムーニアは人が頻繁に訪れたいくなる洗練された夢のような場所だ」と語りました。他にもダリダ、バーバラ・ヘンドリクス、アンドレア・ボチェッリ、フリオ・イグレシアス、ジュリアン・クレール、ジョニー・アリディやエルトン・ジョン等がゲストとして訪れています。



フランクリン・ルーズベルト、ロナルド&ナンシー・レーガン、スペインのアストゥリアス公とエレナ王女、モナコのカロリーヌ公女、日本の皇太子徳仁親王、ネルソン・マンデラ、デズモンド・ツツ、ヴァレリー・ジスカルド・デスタン、ジャック・シラク、ヘルムート・コール等、王室や政界からも多くの方々がラ・マムーニアを訪れています。

2009年の大改装以降も、さらにたくさんのセレブが訪れています。グウィネス・パルトロウ、ジェニファー・アニストン、サイド・タグマウイ、サルマ・ハエックやジュリエット・ビノシュ等は皆ラ・マムーニアのレッド・カーペットでポーズを決めています。アメリカの人気俳優オーランド・ブルームもこのロマンティックな場所で当時のガールフレンド、ミランダ・カーと熱いサンクスギビングの休日を過ごしました。

2010年12月より毎年行われているマラケシュ国際映画祭の時期には、大物の映画関係者も多数ラ・マムーニアを訪れます。一部の名前を挙げるだけでも、エヴァ・メンデス、キアヌ・リーブス、ガッド・エルマレ、ロシュディ・ゼム、マリオン・コティヤール、ギヨーム・カネ、フランシス・ジェイコブ、クリスチャン・ルブタン、エレーヌ・ド・フジュロルや黒沢清等が並びます。

ラ・マムーニアの長い歴史を語るゲストリストとビジターブックには数々のセレブの思い出やコメントが多く残されています。そして、多くのゲストがマラケシュがいかに素晴らしく、そしてまた、ラ・マムーニアに戻ってきたいと述べています。



# 2020年の大改装

2020年、「マラケシュの貴婦人」と謳われるラ・マムーニアは約3か月にわたる大改装を行いました。新しく生まれ変わりましたが、97年を誇る歴史は変わることなく引き継がれています。

“何も変えない為に、全てを変える必要がある”

ジュゼッペ・トマーゾ・ディ・ランペドゥーサ



「当初、ラ・マムーニアをずっとこのままに…という願望がありました。ラ・マムーニアは常にそのオーラ、その高貴さ、そしてその優雅さで人々を魅了してきたからです。しかしそれを少し変える必要がありました。

デザイナーのパトリックと建築家のサンジットは、私が想像し、理想としたものを細部まで見事に具現化してくれました。

雰囲気のある、かつエネルギーを感じるスペースができあがりました。

300人の職人によって3か月を要したリノベーションが成し遂げた姿を皆様にお披露目できることが楽しみでなりません。

魔法のように蘇ったラ・マムーニアは、【リノベーション(改修)】ではなく

【イノベーション(革新)】と呼ぶことが好ましい。

但し、私たち全員が大切にしてきたこの場所の魂はこれまでと変わっておりません。

生まれ変わった、変わらないラ・マムーニアへのお越しをお待ちしております！」

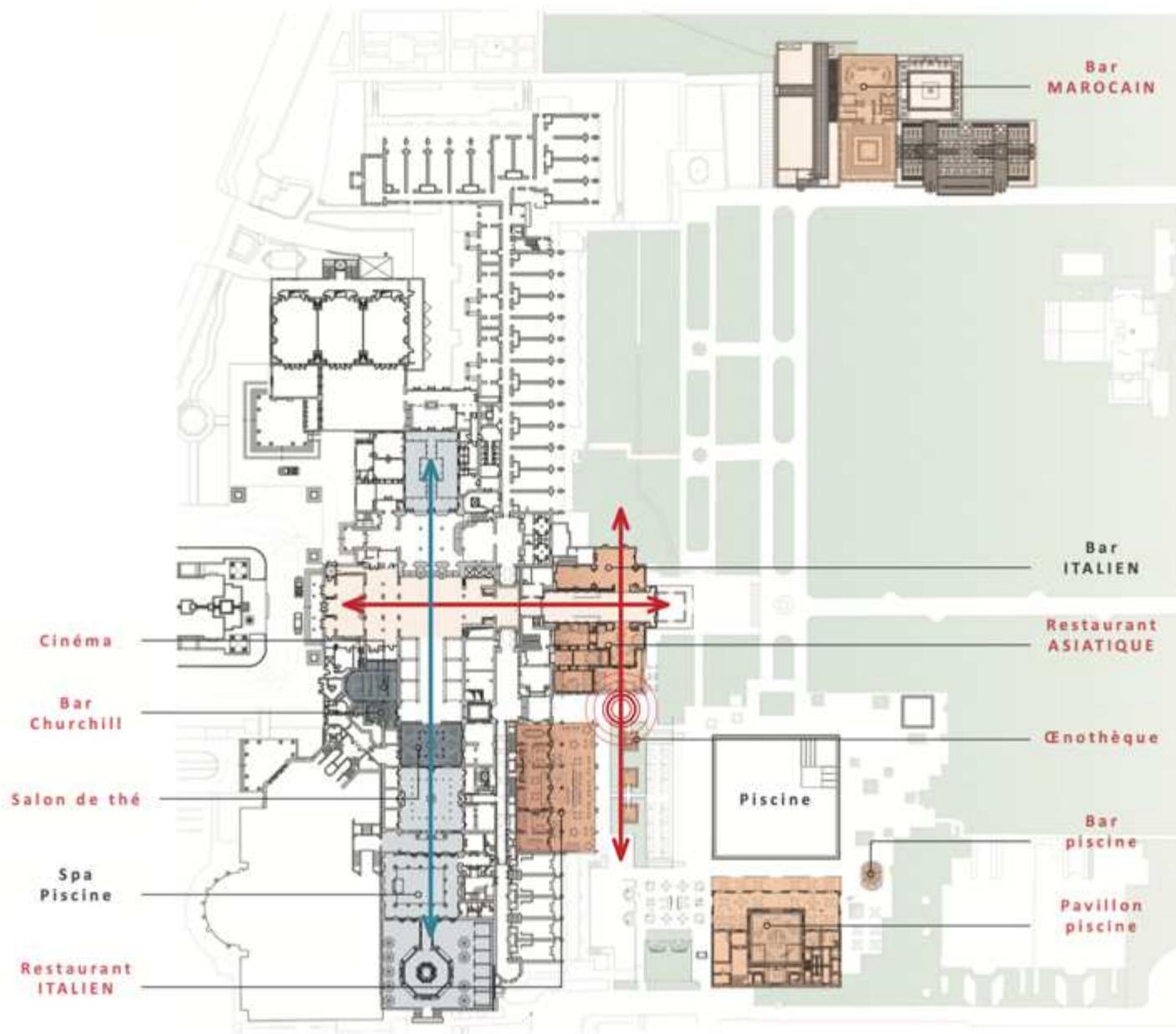
---

ピエール・ジョエム  
総支配人



総支配人ピエール・ジョエムの情熱的な指揮の下、  
デザイナーのパトリック・ジュアンと  
建築家のサンジット・マンクは、  
これまであった空間を保ちつつ、かつ新たなものを作る  
という難題を見事にクリアし、  
ピエールが望んだ理想郷を完成させました。

# ラ・マムーニア リノベーションエリア全体図



# 新しい施設

サロン・ド・テ by  
ピエール・エルメ  
(Le Salon de Thé  
par Pierre Hermé)

チャーチル・バー  
& シネマ  
(Le Churchill et le  
Cinéma)

イタリアンバー by  
ピエール・エルメ  
(Le Bar Italien par  
Pierre Hermé)

ル・パビリオン・ドウ  
ラ・ピシン&バー  
(Le Pavillon Piscine  
et le Bar)

エノテーク  
(L'Œnothèque)

アジアティーク by  
ジャン-ジョルジュ  
(L'Asiatique par  
Jean-Georges)

イタリアン by  
ジャン-ジョルジュ  
(L'Italien par  
Jean-Georges)

マロカン・ラウンジ  
(Le Lounge  
Marocain)



# サロン・ド・テ by ピエール・エルメ



「サロン・ド・テ by ピエール・エルメ」は、モロッコのサロンスタイルを取り入れており、大理石で囲まれた噴水が空間の中心に来るようデザインされています。

噴水は大きなシャンデリアを美しく映し出し、ロビーからも映えるように計算された造りです。

自然と足を運んでしまうこの素敵な空間で、ピエール・エルメによる朝食、アフタヌーンティー、スナックメニューやデザートを楽しめます。



# アジアティーク by ジャン-ジョルジュ



かつてのイタリアンレストランは、  
「アジアティーク by ジャン-ジョルジュ」  
に生まれ変わりました。

伝統あるモロッコスタイルの装飾と、ジャン-ジョルジュの料理が完璧に調和しています。中華、和食、タイ料理のエッセンスを加えた本場顔負けの料理を楽しめます。

# イタリアン by ジャン-ジョルジュ



かつてのフレンチレストランは、シックでカジュアルなトラットリア「イタリアン by ジャン-ジョルジュ」に生まれ変わりました。

壁一面の大きな窓の向こうにはラ・マムーニアが誇るガーデンが広がり、自然光がふんだんに入る新鮮なアルフレスコ・ダイニングもお楽しみいただけます。

ライブキッチンスタイルで作られる料理はその過程も楽しむことができ、上質な食事の時間をお約束します。

# チャーチル・バー



常連客にとって、ラ・マムーニアのランドマーク的な存在である「チャーチル・バー」は、大理石のテーブルをバー中心に配し、こぢんまりとしたプライベート空間を提供しています。



パリで最古のキャビアメーカーの一つ「キャヴィアリ(Kaviari)」から届くラ・マムーニアの特注品「キャビア・メゾン」やスモークサーモンをお召し上がりいただけます。

## シネマルーム



元の「チャーチル・バー」の一部のスペースは、新たに「シネマルーム」に変身しました。居心地のよい豪華なチェアとクッションは、シネマルームというより大型スクリーン付きの居間のような寛ぎのスペースです。

ピエール・エルメが特別にデザインしたスナックメニューも提供しています。

# ル・パビリオン・ ドゥ・ラ・ピシン



ガーデンと見事に融合したラ・マムーニアのプールは必見です。新しい「ル・パビリオン・ドゥ・ラ・ピシン」は円形シャンデリアや中央の噴水がその場を彩り、食欲をそそります。

人気のサンデーブランチはもちろん、朝食と昼食をビュッフェスタイルで毎日提供しています。

# バー・ドゥ・ラ・ ピシン



「ル・パビリオン・ドゥ・ラ・ピシン」  
が提供する新たな円形のバーは  
陽気で楽しい時間を演出します。

桃色の大理石ブロックで覆わ  
れたこの新しいスペースは、  
ピエール・エルメのスイーツが  
ぎっしり詰まった夢のような場所。



シュガーボックスby  
ピエール・エルメ

# ガゼボ



プールサイドに新設されたガゼボでは、特別な時間を優雅に過ごすことができます。ゆっくり本を読むこともお勧めですし、ガゼボでのランチやディナーの手配も可能です。

# エノテーク



地下のワインセラー「エノテーク」。

12名用のゲストテーブルの周りを2000本以上の特別なワインが取り囲み、広い天井の開口部からは自然光が入るように工夫されており、ロープ状のシャンデリアを通して光を集めます。

秘密の隠れ家のような雰囲気の特的な空間は、まさにモロッコの職人技を21世紀に融合。



## ル・マロカン & ラウンジ

ガーデン内に位置する「ル・マロカン」では、  
1階に壮大なテラス、  
ルーフトップには新しいラウンジをオープンしました。

荘厳な雰囲気の中、伝統あるモロッコ料理を  
お楽しみいただけます。





## マジョレル・バー & マジョレル・ギャラリー by ピエール・エルメ

ラ・マムーニア心臓部にある  
マジョレル・バー&マジョレル・  
ギャラリー。

ピエール・エルメが新たに監修  
するこのエリアでは、ここでしか  
味わうことのできない  
ピエール・エルメのオリジナル  
ソルティーマニューやデザート  
を堪能できます。







# 客室とスイート



135 客室

65 스위트

6 シグニチャー・スイート

3 リアド

# 客室



クラシック・イヴェルナージュ・ルーム  
スーパーリア・イヴェルナージュ・ルーム  
デラックス・クトゥビーヤ・ルーム  
デラックス・パーク・ルーム  
デラックス・アグダル・ルーム

# スイート



イヴェルナージュ・スイート  
パーク・スイート  
アグダル・スイート  
デュプレックス・スイート



# スイート



クトゥビーヤ・エグゼクティブ・スイート

パーク・エグゼクティブ・スイート

アグダル・エグゼクティブ・スイート

プレステージ・スイート





## シグニチャー・スイート

クトゥビーヤ・スイート  
バルダキン・スイート  
マジョレル・スイート  
チャーチル・スイート  
マルケトリ・スイート  
アル・マムーン・スイート





伝説の庭園の中にのどかに佇む3つのリアドは、それぞれが思慮深い贅沢の本質を表現しており、真の上質と私的な感覚体験をお約束いたします。

全てのリアドが700㎡以上の広さで、3つのベッドルームとそれに続く見事なまでのバスルーム、さらに大きなダイニングルームとオゾン処理されている温水プール付きのプライベートテラスを備えます。ウエルカム・カクテル、地元料理、洗練されたホスピタリティ・グッズがさらに滞在を演出します。

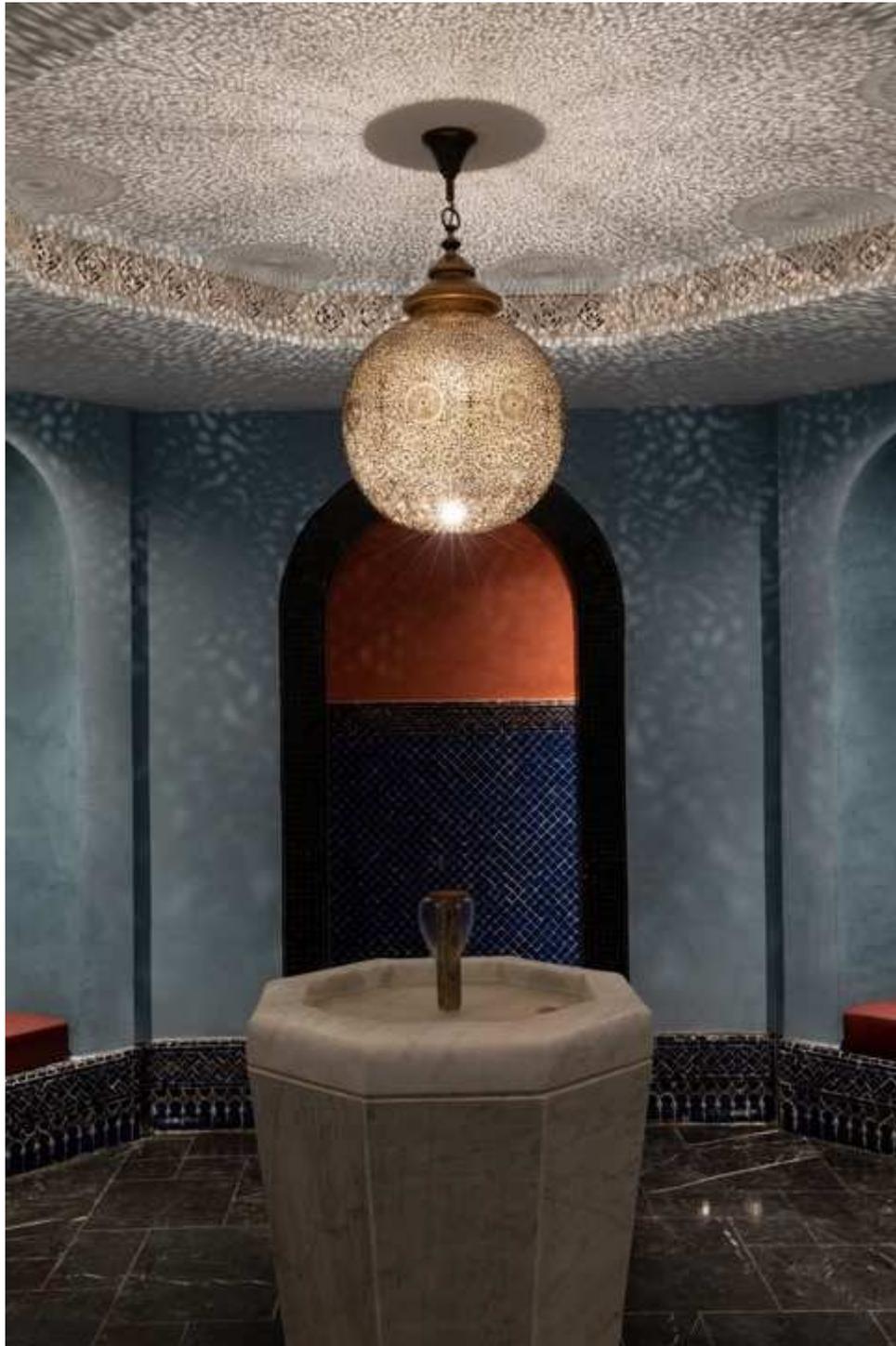
# リアド

(モロッコ風邸宅)





ビューティー&ウェルネス



2,500㎡の広さを誇る、ラ・マムーニアのスパ。  
マロックマロックや、スイスを代表するブランド、ヴァ  
ルモンを使用し、モロッコ文化とオリエントの風習が  
見事に溶け合う、完璧なる癒しと平安の場です。

## 2 伝統的なハマム

### 1 プライベートハマム

### 10 マルチ・トリートメントルーム (内3つはカップル仕様)

ヘアサロン(美容院&理髪店)

マニキュア&ペディキュアキャビン

リラクゼーションルーム

スポーツルーム(フィットネス機器完備)

ジャグジー付き温水プール

プライベートスパ



# ヴァルモン VALMONT

ラ・マムーニアは、スイスのラグジュアリー・コスメブランド、ヴァルモンとのコラボレーションを実現しました。ゲスト専用で作られたスペシャルトリートメントと、「時間の魔術師」とも称され、その効果の高さに定評がある「レリクシール・デ・グラシエ」、「プライム・リニューイング・パック」、「ハッピー・マスク」などのスキンケアのシリーズをスパのブティックにて購入が可能です。



# マロックマロック marocMaroc



マロックマロック (marocMaroc) は、これまでにないモロッコの物語を語ります。

伝統的な美の新たな解釈、エレガントなケアで、肌をより美しくする為の儀式へとあなたを誘います。

独自の処方、驚くべきテクスチャー、並外れたタッチ、そしてさらに美しい肌をお約束します。

フレグランスは、幸せで穏やかな雰囲気をもたらし、心もからだもうっとりするような恍惚感をもたらす。選り抜かれた素材とあなたの肌が敏感に反応し合っている証です。





## ヘアサロン

スパでは、ヘアケアやその他の  
ご要望にもお応えしています。

また、男性ゲストのために理容室の  
メニューも用意しています。



C1

# ショップ







## ラ・マムーニア ブティック

ラ・マムーニアのブティックには、食器、リネン、モロッコの工芸品、革製品等があり、豊富なラインアップの全てにラ・マムーニアのマーク(ロゴ)が入れています。

また、人気のメゾン・フラゴナールのキャンドルや香水もあります。デリカテッセンコーナーにはラ・マムーニアの庭園で作られたオリーブオイルやオレンジマーマレードも販売しています。

営業時間：毎日午前10時～午後8時





## ピエール・エルメ ブティック

2017年12月、系列店としてアフリカ大陸に初めて出店したピエール・エルメ・ブティックでは、味、香り、彩りでゲストを楽しませる洗練されたスイーツを多数ご用意しています。クライアントに各界の著名人が名を連ねるピエール・エルメ・ブティックでは、一流のパティシエによる極上の一品をお届けしています。モロッコならではの伝統菓子に加え、2016年の『Academy of World's 50 Best Restaurants』（世界ベスト50レストランアカデミー賞）

で世界一に輝いたピエール・エルメが新たな発想で手掛ける最高級パストリーをご賞味下さい。

また、2020年10月以降、ピエール・エルメはラ・マムーニア内の「サロン・ド・テ」と「マジョレル・ギャラリー」のメニューも監修しています。



# フラワー・キオスク



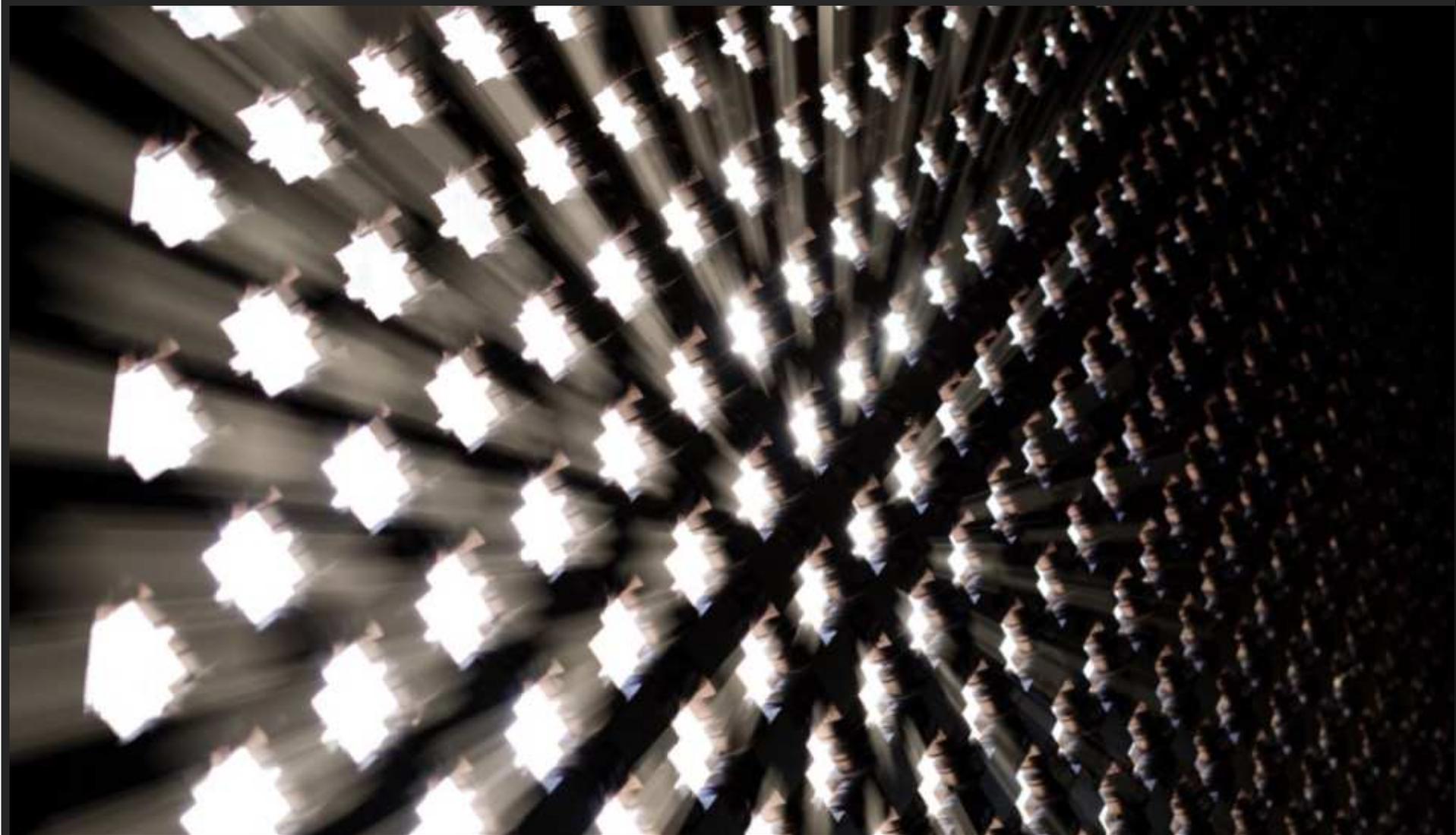
ホテルの入口にあるフラワー・キオスクでは、ご要望に合わせてオリジナルのフラワーアレンジを致します。

営業： 月曜： 午後3時～午後8時  
火～土曜： 午前9時30分～午後12時  
午後3時～午後8時

## ゲームルーム



庭園の中心部に新たに作られたゲームルームは、アメリカのダイナーを意識し、ピンボールマシン、ビリヤード、ジュークボックスを配し、ラ・マムーニアでの滞在をより一層引き立てます。



タレント(リノベーションの主要プレイヤー)

## ピエール・ジョエム 総支配人



## Pierre Jochem General Manager

ピエール・ジョエムは2013年9月にラ・マムーニアの総支配人に就任しました。

20年を超えるピエールの国際的かつ豊富な経験はこれまでもハイアット、ペニンシュラ、オベロイ、フォーシーズンズ、ラッフルズなど名だたる一流ホテルグループの発展に大きく貢献してきました。

ピエールのリーダーシップの下、ラ・マムーニアは2018年と2015年、コンデナストラベラー・リーダーズチョイスアワードにて「世界No.1ホテル」及び「アフリカNo.1ホテル」を受賞しています。

2020年の大規模な改修もピエールの見事な手腕により完了し、大成功をおさめています。

# パトリック・ジュアン & サンジット・マンク Patrick Jouin & Sanjit Manku

フランス人デザイナーのパトリック・ジュアンとカナダ人建築家のサンジット・マンクは15年以上のビジネス・パートナーで、2020年のラ・マムーニアの大規模改装に抜擢されました。

「調和を保ちつつ柔和に」  
ラ・マムーニアを新たな時代へと見事に導いた彼らのデザインと建築は必見です。



# ジャン-ジョルジュ・ヴォンゲリステイン Jean-Georges Vongerichten



世界で最も高名なシェフのひとり、  
ジャン-ジョルジュは、さまざまなスタイルの料理を  
吸収し、それらを単独または組み合わせた  
オリジナルメニューを作り上げる芸術的なシェフです。

ラ・マムーニアでは、  
ラグジュアリーなイタリアンラットリアを中心に、  
アジアンコンセプトのレストランでの  
エキゾチックな料理など、  
ジャン-ジョルジュの卓越した手腕を堪能できます。

# ピエール・エルメ Pierre Hermé



パティシエ界のピカソと称されるピエール・エルメは、2017年12月からラ・マムーニア内でアフリカ大陸初となるピエール・エルメ・ブティックをオープンしています。

今回ラ・マムーニアの大改修に伴い、新たにラ・マムーニア内の「サロン・ド・テ」と「マジヨレル・ギャラリー」のメニューも監修しています。



この他に、ゲストの期待を超えるべく情熱を持って働く650人以上のスタッフ全てがラ・マムーニアが誇るタレント達です。笑顔、厳格さ、卓越性と可用性。この全てがラ・マムーニアを世界トップクラスのホテルに仕上げています。

「ラ・マムーニアの最大の財産は何か？」と尋ねられると、総支配人ピエール・ジョエムは、「それは彼ら(ラ・マムーニアのスタッフ達)です！」と答えます。



# La Mamounia

## 受賞歴

(2009～)



*Best Hotel in the World 2018*

*Best Hotel in Africa and the Middle East 2018*

*Conde Nast Traveller Readers' Choice Award*

*Best Urban resort in the World 2018*

*Conde Nast Traveler Spain*



***Best Hotel in the World 2015***  
***World Travel Awards***



***Best Hotel in the World 2015***  
***Best Hotel in Africa and the Middle East 2015***  
***Condé Nast Traveller Readers' Choice Award***



***Best Hotel in Africa 2015***  
***World Travel Awards***

LuxuryTravelGuide

GLOBAL AWARDS 2015

- WINNER -

*Hotel Classic Luxury 2015  
Luxury Travel Guide Awards*

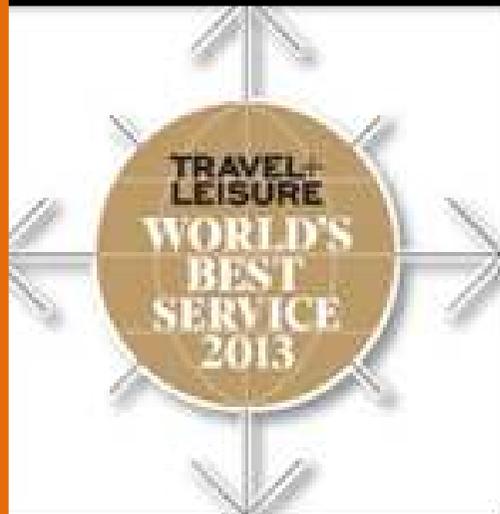
**GOLD LIST 2014**

THE WORLD'S BEST PLACES TO STAY

*2014 Gold List  
Conde Nast Traveler Readers'  
Travel Award*



*First National Human Resources  
Award 2013*



*3rd place in the Africa/Middle East category  
2013 World's Best Service*

Condé Nast  
**Traveler**

*Best Urban Hotel in the World 2012  
Condé Nast Traveller - Spain*



*« Meilleur Spa Reader's Choice 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015 et 2016 »*

SpaFinder Reader's Choice Awards



*6th most prestigious hotel in the world*

*FOX NEWS CHANNEL*



*Morocco's only hotel on the list:*

*500 best establishments in the world "T-L 500"*



*"Gold List 2011 - 2012"*

*Conde Nast Traveler Readers' Travel Award*



TATLER



*Meilleur Hôtel Spa dans le monde 2011*

*Conde Nast Traveler Readers' Spa Awards*

*Hôtel de l'Année 2010*

*Tatler Travel Guide*

*Meilleur Resort 2010*

*Travel and Leisure Design Awards*

A large swimming pool in the foreground with a building and palm trees in the background. The building has a prominent tiled roof and arched windows. The pool is surrounded by a patio area with tables and umbrellas. The sky is clear and blue.

ラ・マムーニアで皆さまを  
お待ちしております！

*#LAMAMOUNIALIFE*